

相楽東部広域連立笠置小学校  
**学校だより**

令和8年3月号

児童のめあて

かしこく (知)

やさしく (徳)

げんきよく (体)



TEL0743-95-2046・ホームページ <http://www.kyoto-be.ne.jp/kasagi-es/cms/>

令和8年3月2日

校長 中熊貴史



**「誰かのために思って・・・」** ～目標は考えてなかったけれど～



学校の1年が終わる3月。まとめの月とも言われますが、スタート準備の月とも言えます。とは言え、この3月は私にとって特別な感がする3月になりそうです。なぜなら、6年前に入学おめでとうと迎えた子どもたちを卒業おめでとうと言って送り出す3月だからです。

振り返ればいろいろな思い出がよみがえり、何ができたかを考えます。そして、誰もが誰かのために思って仕事をしたり、生活をしていたり・・・そんなことに気がきます。

**ルーティーンに任せて過ごしていると忘れてしまうことはありませんか？**

普段はいつも通りと思い仕事をしてしまっていますが、ときどき、忘れてしまったり、つい手を抜いてしまったり・・・そんなことがあります。

アメリカの教会でシスターの修行をしていた女性がいました。毎朝食卓にお皿を並べる仕事をしていたら、教会の偉い人から何を考えながらお皿をならべているのかを聞かれたそうです。何も考えてないと答えると、それでは時間の無駄になるからそのお皿で朝食をとる人たち1人1人のために祈りながら置いていくようにとアドバイスされました。お皿を並べるだけのつまらない仕事だと思っていましたが、周りの人の幸せを願いながら仕事をすれば価値ある仕事になる。と気付いたそうです。

どんな仕事(日々何気なくやっていること全て)はどこかで誰かに繋がっています。誰かのために思ってこれからは生活していきたいものです。

**「たがいを思いやり、楽しみながら学ぶ児童の育成」学校の教育目標です。**

<p>1 毎日の仕事 ルーティーンでこなす</p> <p>せくせく!</p>	<p>2 あるシスターの話を書いたことがあるな</p> <p>つまらない仕事に思えるときも・・・</p>	<p>3</p> <p>この仕事は子どもたちの笑顔に繋がる価値ある仕事だ!</p>	<p>4</p> <p>誰かのためにになっている! 3月も「思いやり」を大切に頑張ろう!</p>
--------------------------------------------	------------------------------------------------------	-------------------------------------------	--------------------------------------------------

令和7年度、保護者の皆様方や地域の方々大変お世話になりました。おかげさまで子どもたちはすくすくと成長することができました。

**ほんとうにありがとうございました。**

## 笠置小感謝祭！！

2月12日(木)に笠置小感謝祭を開催しました。笠置小学校は、日頃から地域の方に支えられながら教育活動を進めています。今回は、登校の見守りをしていただいている民生児童委員の方々や笠置駐在所の駐在員さん、毎月読み語りに来ていただいているトマト絵本の方々をお招きして、日頃の感謝の気持ちを伝えました。5・6年生の進行のもと、お世話になった方々と一緒にゲームをしたり、感謝状やプレゼントを渡したりしました。



## 3月行事予定

1	日	
2	月	体測 人権の花感謝状贈呈式13:30
3	火	全校朝礼 児童集会 SC
4	水	合同避難訓練
5	木	諸費 通学班会 さわやか会落語発表
6	金	6年生を送る会
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	笠小プレミアムデイ
12	木	
13	金	短④12:45下校 安全点検
14	土	
15	日	
16	月	短④12:45下校
17	火	短④12:45下校
18	水	短④12:45下校 式前日準備 職員作業(前日準備)
19	木	短③11:30下校 卒業証書授与式
20	金	春分の日
21	土	
22	日	
23	月	短④12:45下校 給食終了
24	火	短③11:15下校 修了式
25	水	学年末休業開始
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

## みんなで跳ぼう、ピョンピョンタイム ～なわとび大会の取組～

2/17(火)になわとび大会がありました。紅白に分かれ、大縄での八の字跳びで競い合いました。本番に向けての練習では試行錯誤を繰り返しながら、自己ベストの記録を目指し一丸となっていく姿が見られました。

大会当日は、とても白熱し、赤・白ともに自己記録を大きく更新しました。大会結果は、とても接戦で、大変盛り上がりました。両チームとも、接戦の中で飛べなかったことを責めるのではなく、励ますようなプラスの声をかけることができていました。大会後の振り返りでも、勝ち負けというよりも自分たちが頑張っ練習して記録が伸びた事への達成感や満足感を感じた振り返りが多かったように思います。

練習では、大縄で上手く跳べるようになるために高学年が低学年に優しく声をかけたり、跳ぶタイミングを教えたり、子どもたちのよいところがたくさん見られた取組になりました。

